

世界へつながる！ 呼び込む企業と雇用



日本海沿岸東北自動車道 ・京浜港(新潟県)

沿道に航空機内装品の世界的企業が進出

道路整備を見越し、新潟県村上市に航空機内装品の世界トップメーカーが進出

世界シェア約5割 (化粧室(ラバトリー))
世界シェア約2割 (厨房設備(ギャレー))

道路ネットワークや港湾を活かした効率化で事業規模を順次拡大

- ・操業開始(H2)
- ・増築(H3～)

順次開通する日沿道を活用して事業を展開

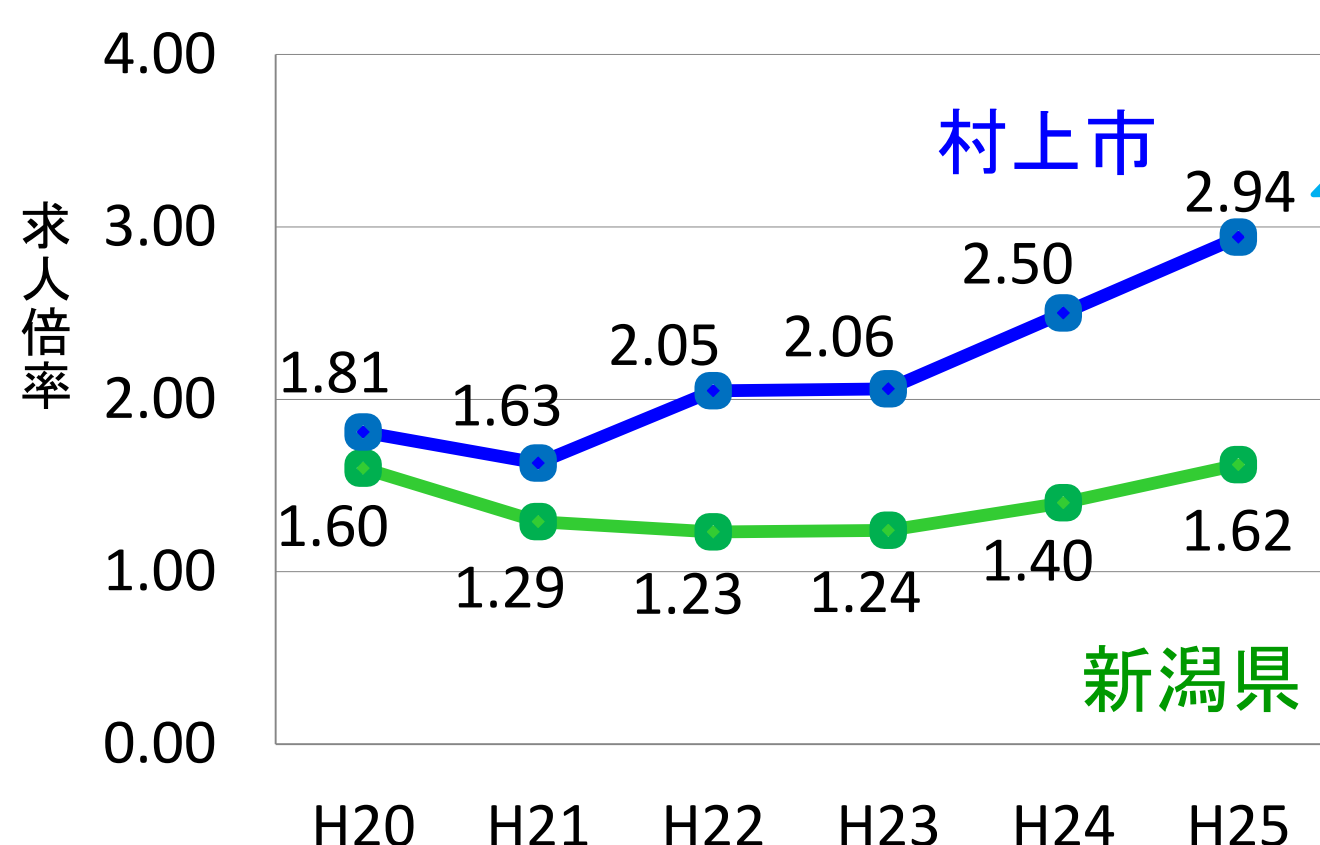
・開通を機に、新規に倉庫を建設(H27)

世界に認められた高品質を支える「人のチカラ」として、地元から大量雇用(H25～H26年で300名から250名増員し、550名に)

現在は、操業当初の約6倍の面積！
社員を増員、地元新卒者を採用！

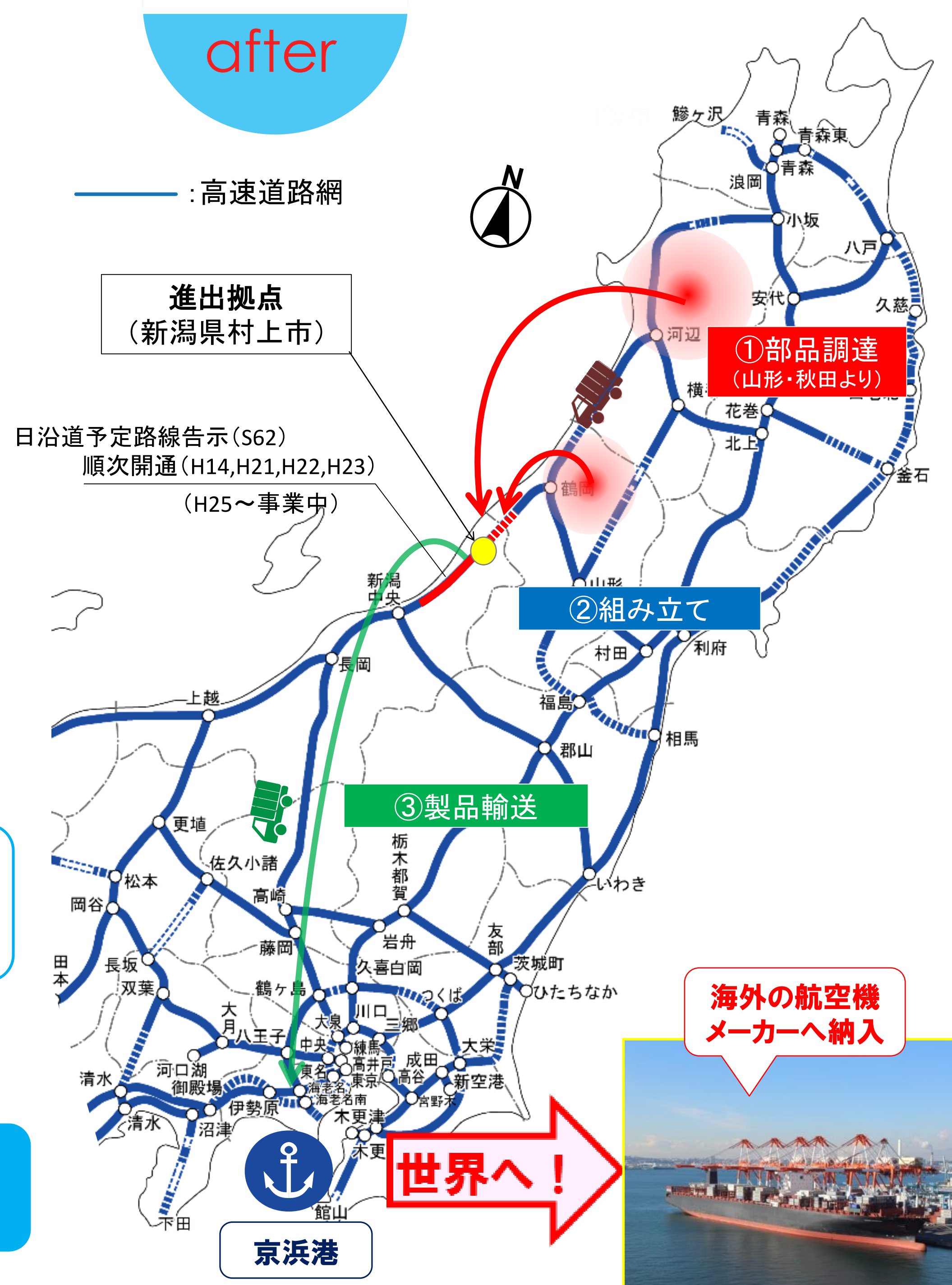
※各種データ：(株)新潟ジャムコへのヒアリング(H27.2)より

高卒求人倍率の推移



県平均に比べ約2倍の高水準で推移

出典)ハローワーク村上:雇用統計情報より



ストック効果

新幹線開通等を契機に本社移転！ 海岸整備で守る経済！



北陸新幹線・^{しも にい かわ}下新川海岸(富山県)

北陸新幹線開通



北陸新幹線の開通により、**移動時間の短縮**効果が発生し、**交流人口が増大**

平成20年2月 越波状況



甚大な高波被害

特にYKKは、**震災への備え**や**新幹線開通を契機**に、平成27年より東京から黒部市へ**本社機能を一部移転**、**研究開発拠点を集約**



本社機能の移転等により
住環境整備が進展！



下新川海岸高波対策

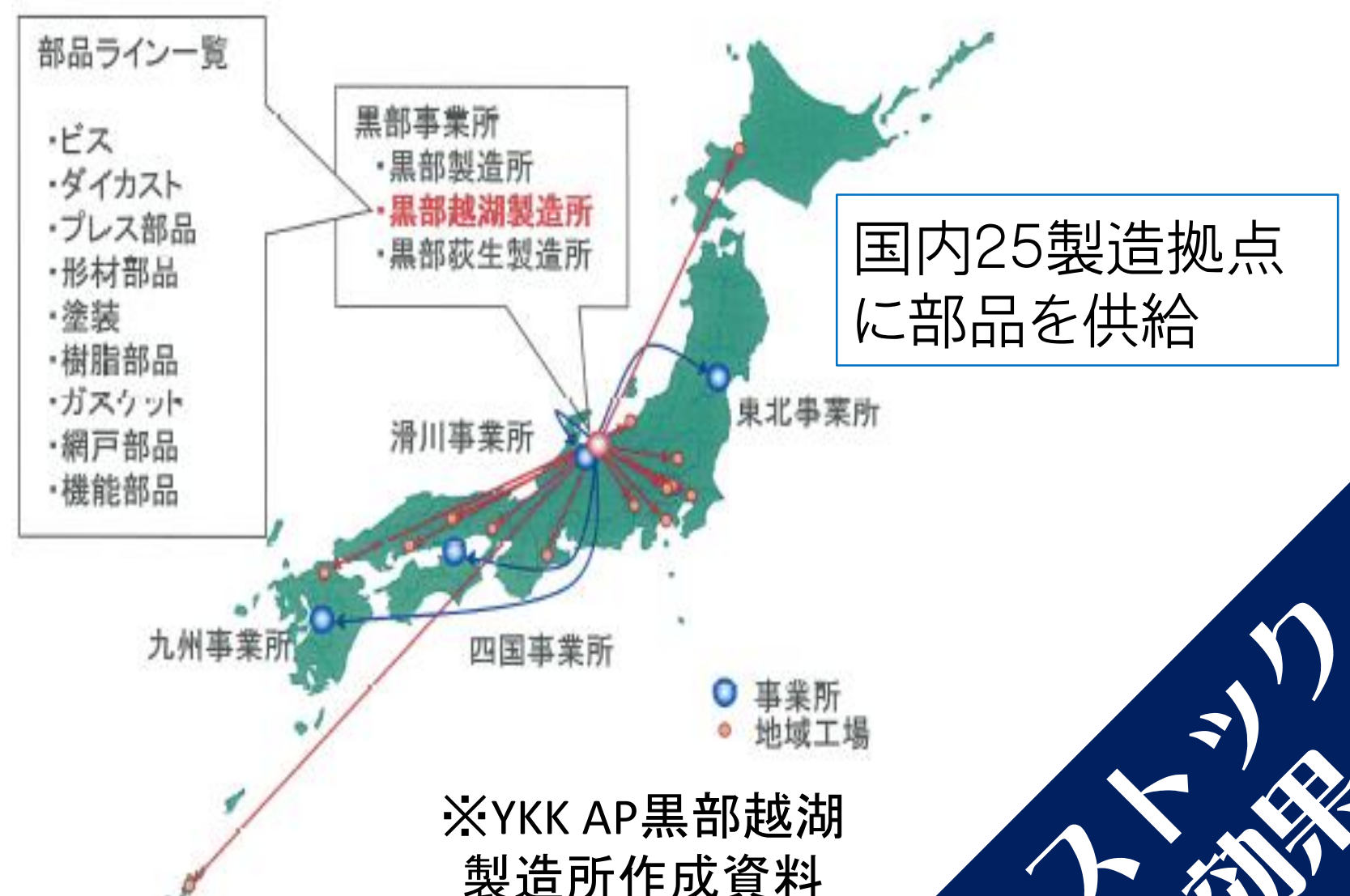
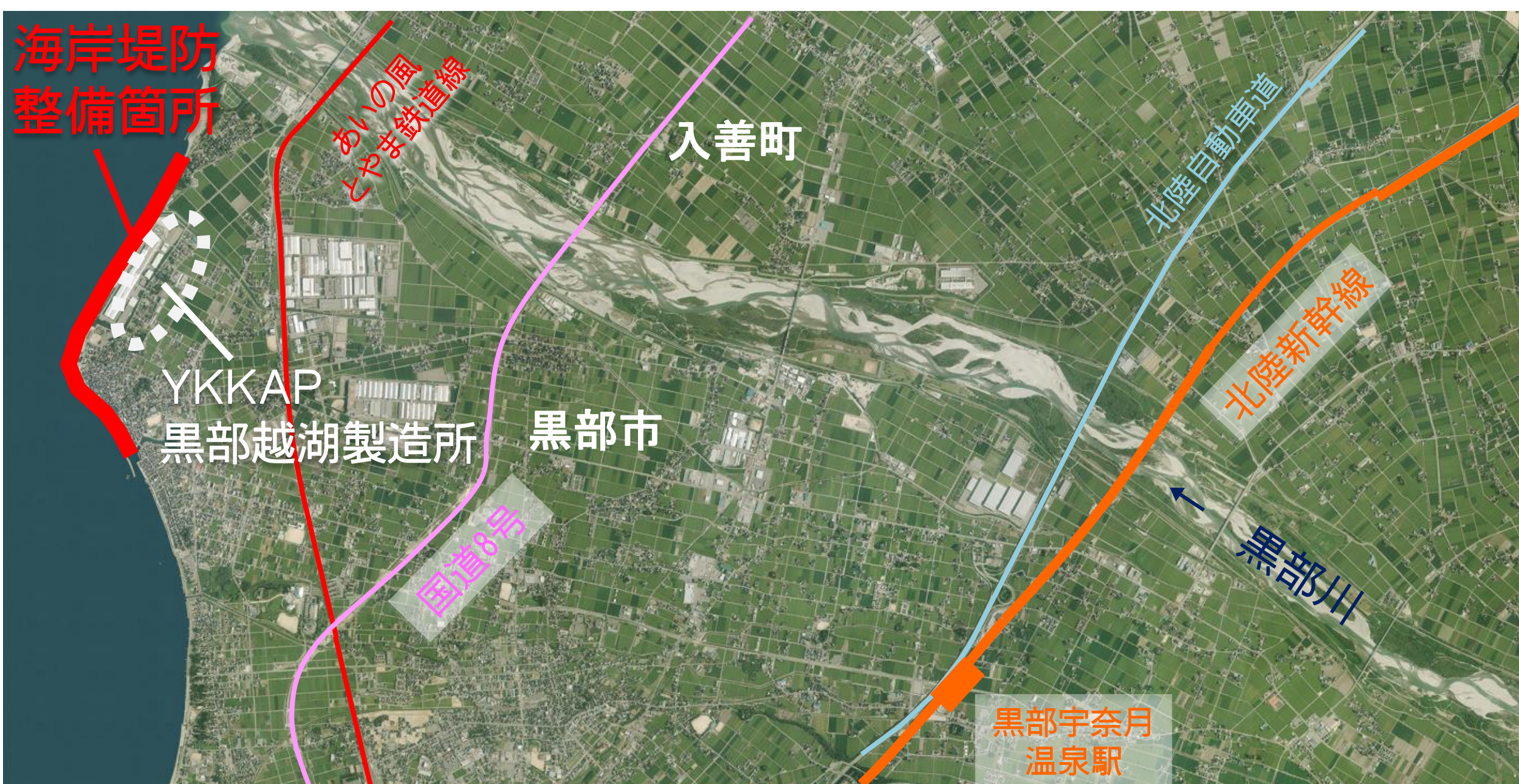


YKKAP黒部越湖製造所

堤防整備状況

国内で**唯一の部品専門工場**である黒部越湖製造所が被災した場合、**全製造拠点にも影響**

黒部越湖製造所(建材部門の基幹工場)



ストック効果

物流ターミナルができて グローバル企業が地元で更なる発展！



金沢港(石川県)

● before >>> ● after

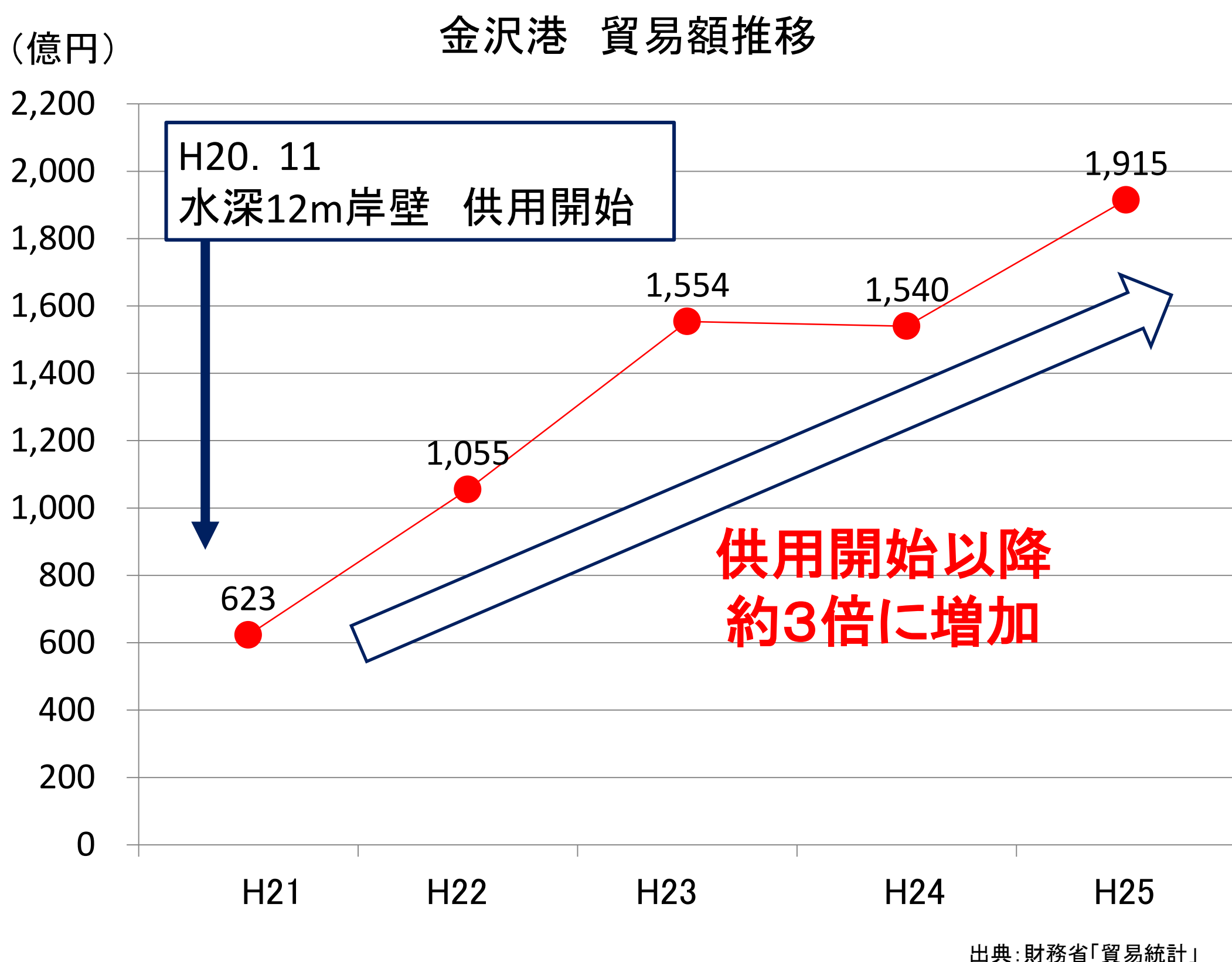


国際物流ターミナル

平成20年水深12m岸壁
供用開始

- 金沢港の国際物流ターミナルの整備により、コマツが地元で更なる発展
- 岸壁が大型化(10m→12m暫定供用)。高付加価値製品の輸出により貿易額が約3倍に増加

金沢港の発展



企業と地域との共生



小松市(小松工場跡地)で小学生向けの理科・ものづくり教室などを実施

○現在金沢工場生産された製品の約9割は金沢港から出荷

ストツク効果

北陸自動車道への直結で 福井県に福来たる！



中部縦貫自動車道(福井県)

● before

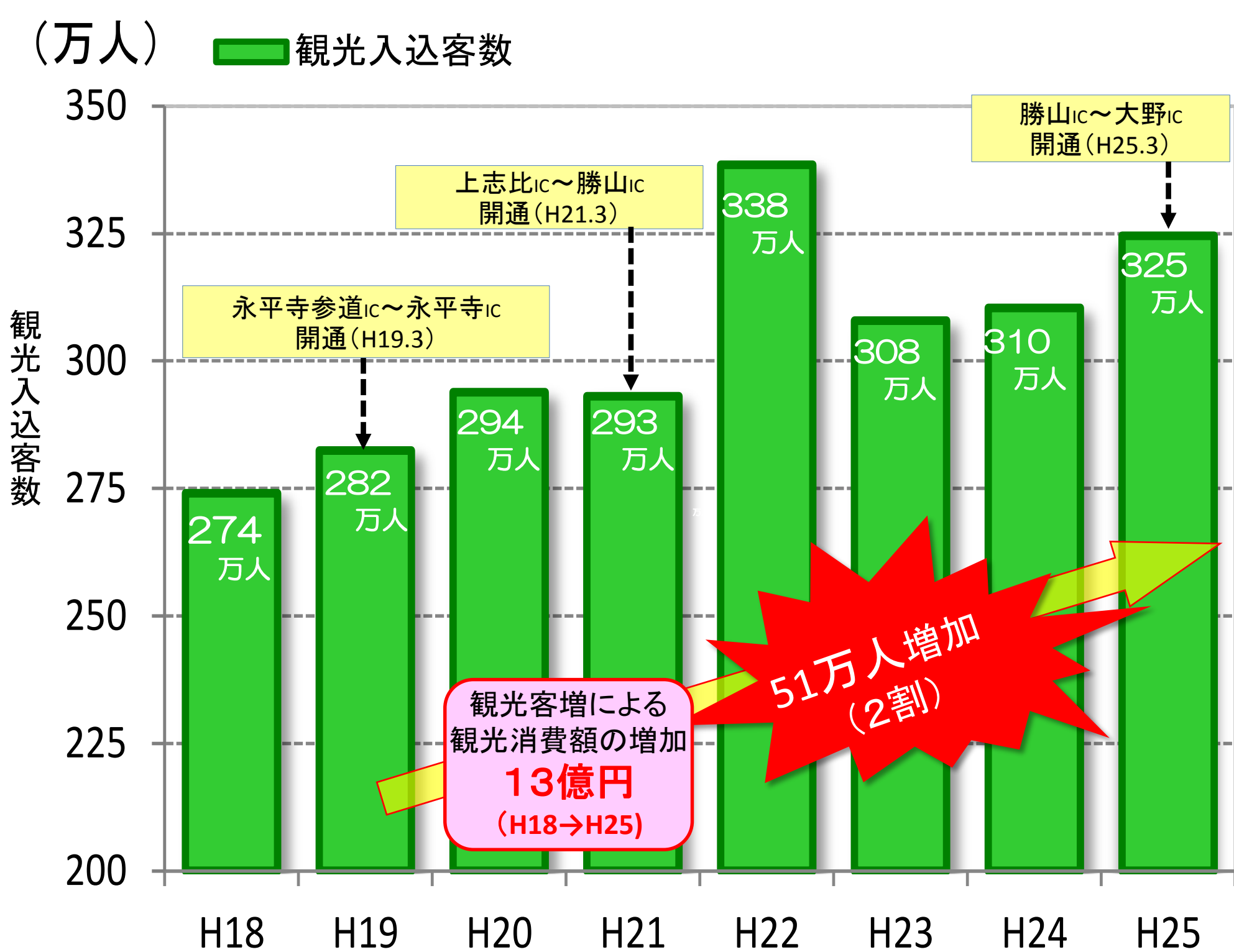
▶▶▶ ● after



奥越地域(勝山市・大野市)では、中部縦貫自動車道の整備に伴い、観光客数がH18に比べ51万人(約2割)増加、観光消費額も13億円増加

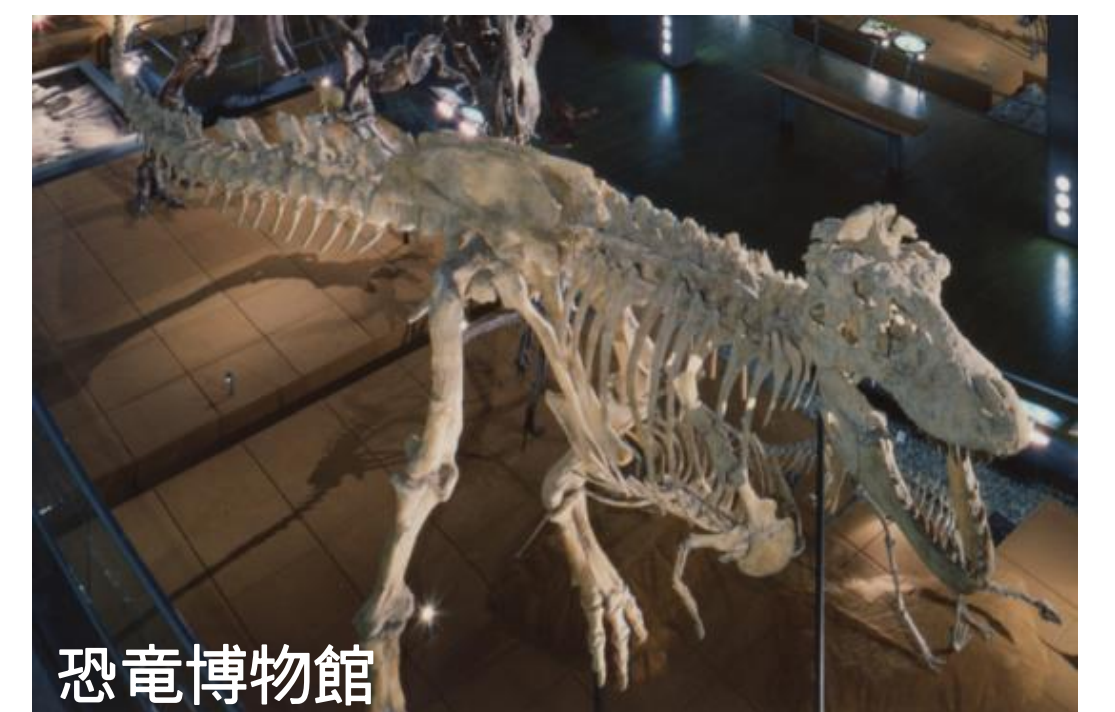
H27.3に北陸自動車道と直結し、広域的なアクセスが向上

奥越の観光客数が51万人増加



※奥越地域: 勝山市・大野市
資料: 福井県観光客入込数

主な観光施設



ストツク
効果

砂防堰堤が守る地域の暮らし



富士川水系直轄砂防事業(山梨県)

● before

● after



事業着手前(昭和30年代はじめ)



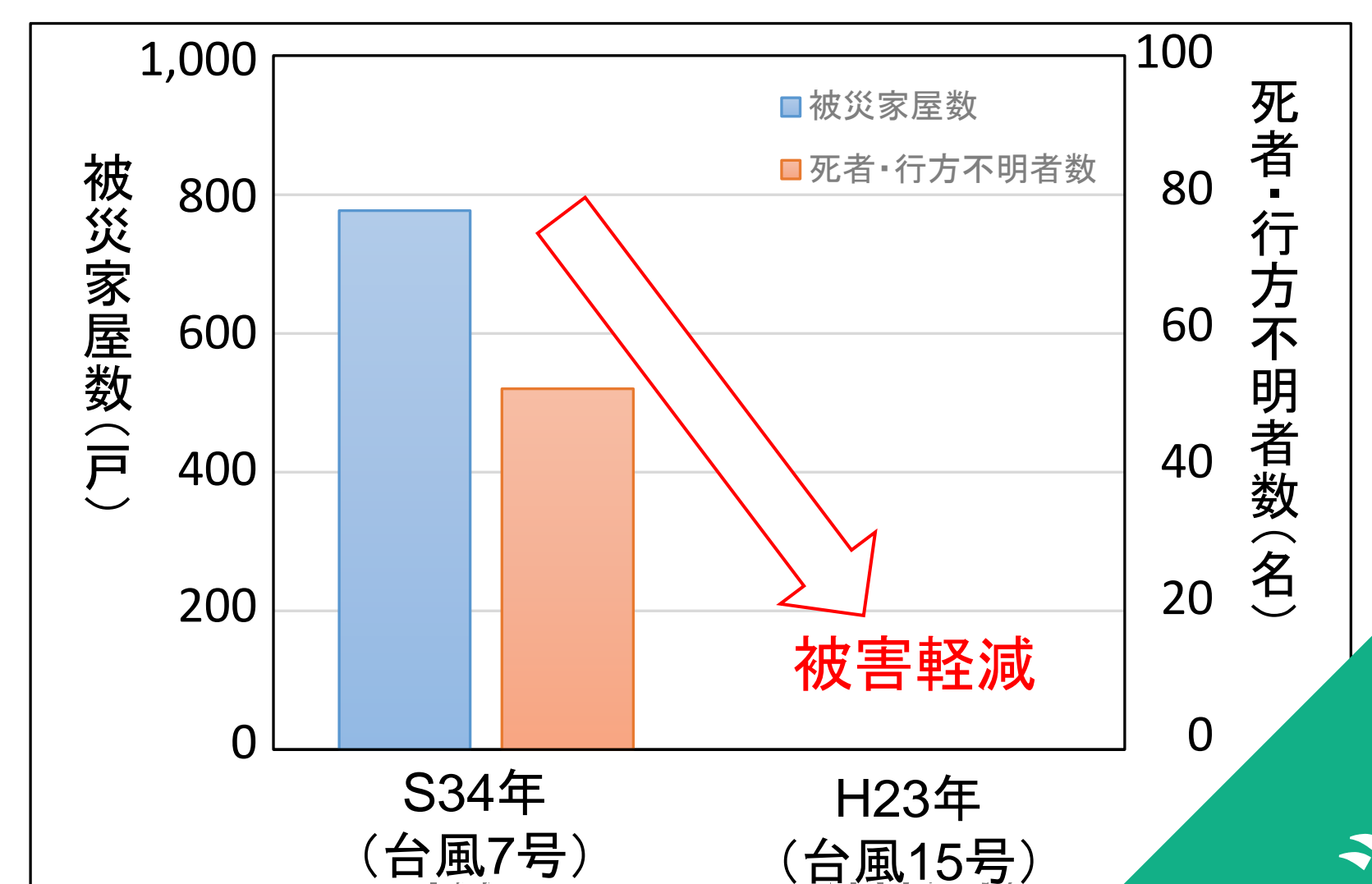
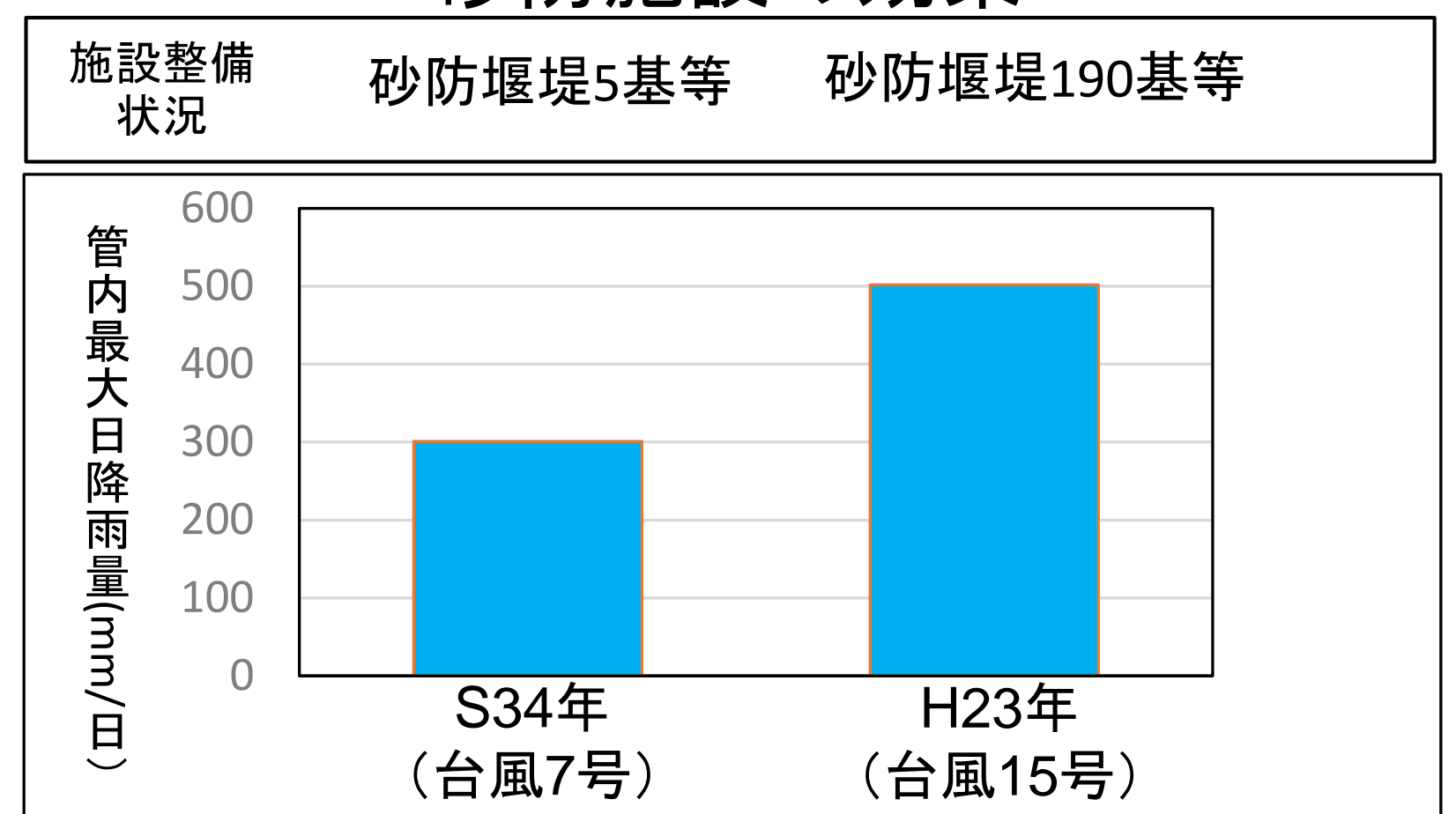
(平成13年)

■ 南アルプスは、中央構造線沿いの極めてもろい地質であり、流出する土砂量の発生量が多い

■ これまで砂防堰堤等の整備を進めてきたことで、地域の治水安全度が向上

■ 施設整備後の下流域では、人家や事業所等が建設

砂防施設の効果



地元自治体からの声

直轄砂防事業により整備を推進していただいたおかげで、昭和57年災害や平成23年9月の台風による災害では、砂防施設の効果等により、土石流被害は軽減され、流域内の財産等の被害を最小限にとどめることができました。
(富士川水系砂防期成同盟会)

砂防事業による施設整備が進んでいることは認識しており、安心して企業誘致を進めることができました。(旧白州町長)

ストツク効果

高原野菜が世界へ！

高速道路が鮮度を変える！

中部横断自動車道・京浜港(長野県)

before

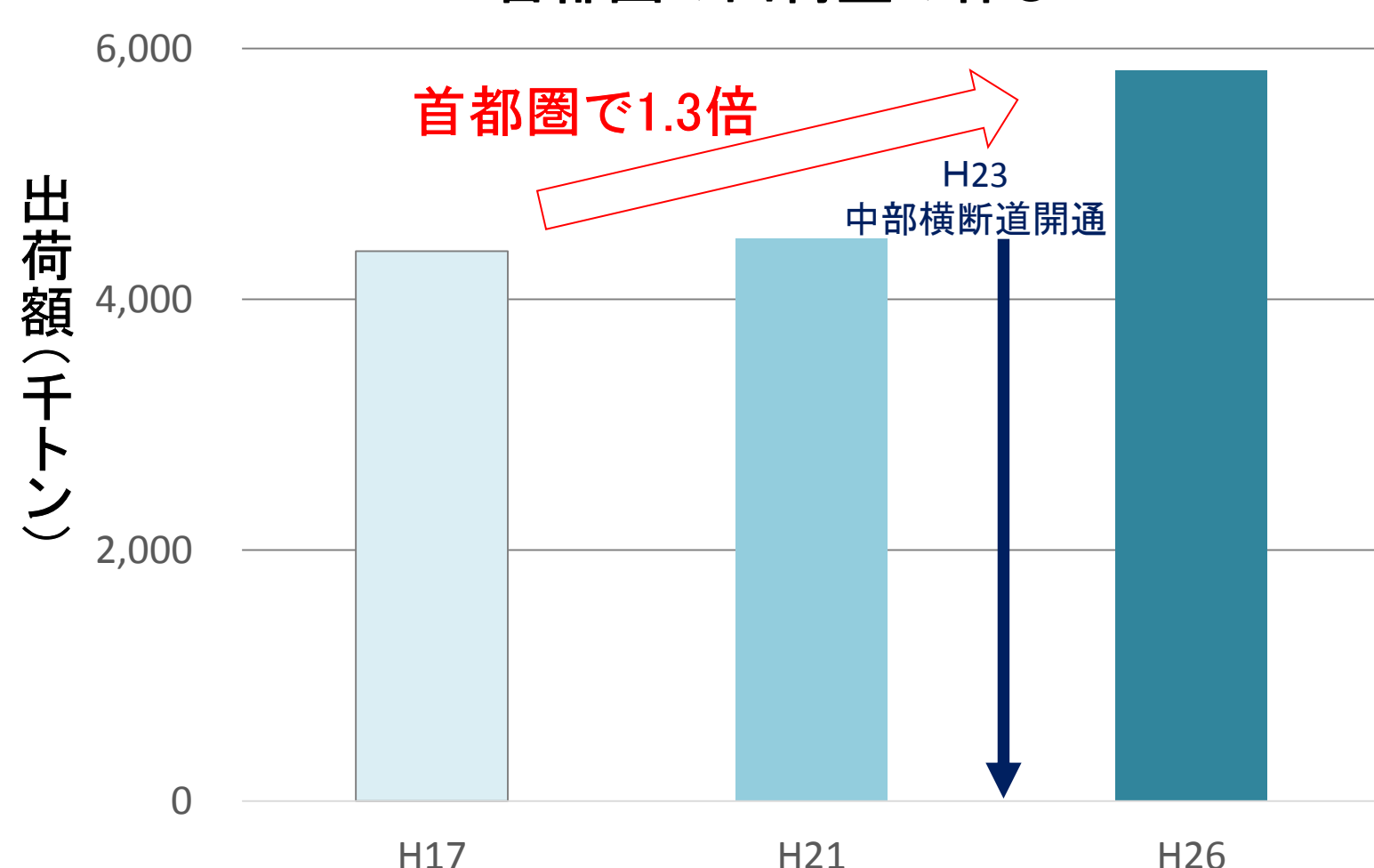
after



- 中部横断自動車道の整備により、首都圏の大消費地や流通拠点へ**輸送時間短縮**
- 短縮時間を、傷みの早いレタスの鮮度を長く保つための予冷処理に充てた結果、**出荷エリアが拡大**
- 特に川上村は「**全国一の高原レタスの産地**」として地域ブランドが定着。台湾、香港への海外販路も実現

レタス出荷額が増加

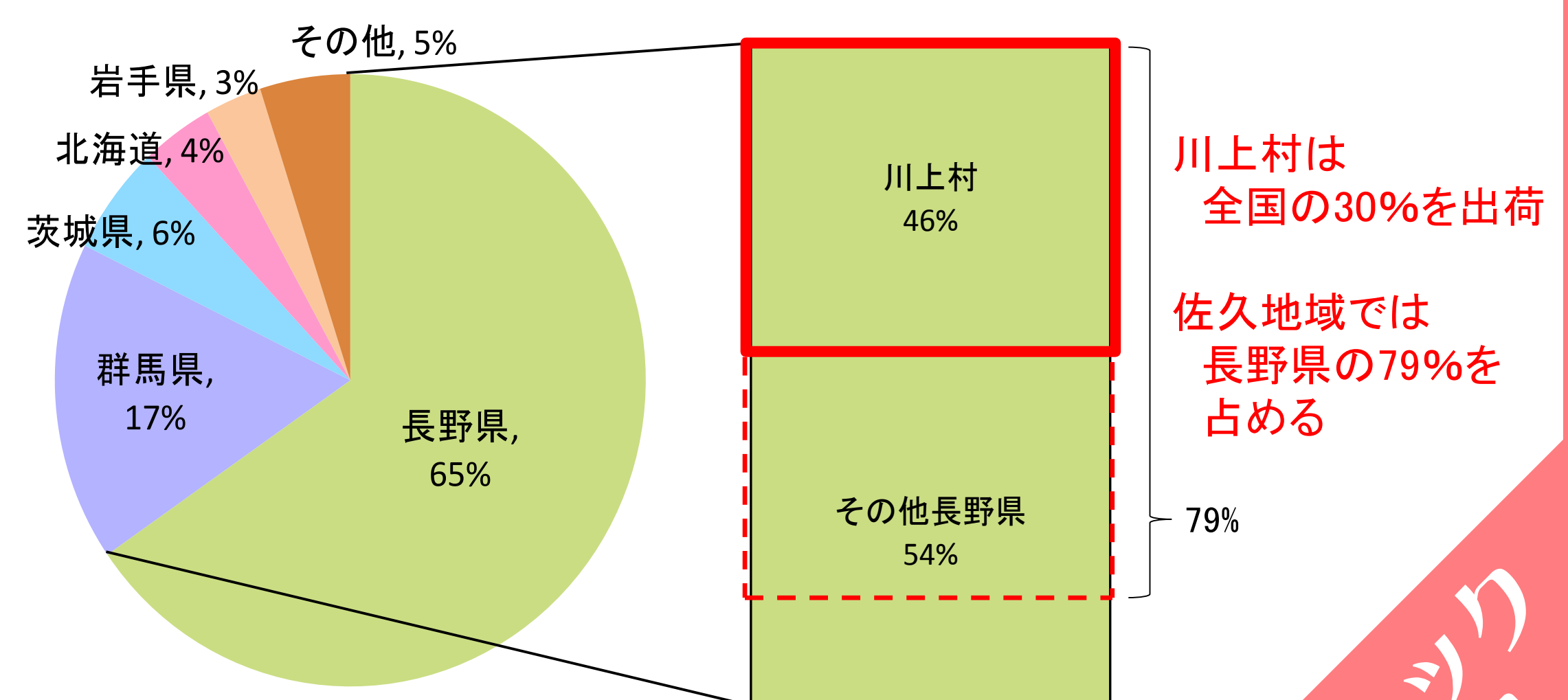
○首都圏で出荷額が約1.3倍に増加
■首都圏の出荷量の伸び



資料: JA長野ハケ岳 年度別出荷数量推移
首都圏: 東京/神奈川/静岡、京阪神: 京都/大阪/神戸/奈良

佐久地域のレタス生産量

※佐久地域: 小諸市、佐久市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、軽井沢町、御代田町、立科町



出典: H25野菜生産出荷統計(夏秋レタス)

ストック効果